

これからの登園、園生活について

休園期間中ご家庭においても仕事上も大変な苦労や不便を被りながら、登園を控えることにご協力いただきありがとうございました。

緊急事態宣言は解除されましたが、新型コロナウイルス感染症については今後もある程度の期間、注意が必要な状況であり、区としては当面「縮小保育」を続けることとなります。

私たちは子どもたち、職員、みんなの「命を守る」ことを優先し、登園を控えていただくことをお願いしてまいりました。緊急事態宣言下では、それは本当に必要なことだったと思います。

一方で、私たちは「**保育園は大切な学びの場**」と考えています。子どもたちの育ちと学びの場が、そして人と人との関わりの機会が制限されているこの状況について理解はしながらもずっと葛藤を抱えています。

緊急事態宣言が解除され、お仕事の状況が変わることと思います。また様々な事情により保育が必要になる方もいらっしゃると思います。できる限り対応してまいりますので、ご負担に感じずに園にご相談ください。

ただ冒頭に記しましたように、今後も注意が必要な状況は続きます。登園に当たっては次のことにご留意いただけたら幸いです。

○新型コロナウイルス感染症に限らず、感染症リスクを0ゼロにすることは保育園では残念ながらできません

・保育園は今社会で推奨されているような対人間の距離を取ることが困難な場所

子ども同士も、子どもと保育者の間でもずっと1~2mの距離を保つことは非常に困難であり、むしろ密集、密接の濃厚接触場面がほとんどです。

・感染予防対策の限界

新型コロナウイルス感染症は潜伏期間が長く、また無症状で経過することも多いと言われております。登園するお子さん、保護者の皆さん、職員に感染の可能性があることを前提とすると、厳重な飛沫対策や消毒が必要になります。保育園ではこれを前提として考えることはできません。登園している人は健康状態が良好であることを前提として保育を行ってまいります。

・これから来る夏場は熱中症対策が必要

保育の現場としては、これからは感染リスクよりも熱中症のリスクの方が高い面があります。暑い日には部屋を冷房で冷やします。その際空気の流れは作りますが、窓を全開にして換気する状態を作ることはできません。定期的に換気を行います。

職員の熱中症対策として、また、保育の人的環境として保育士の表情を大切に考えていることから、マスクを外して保育することがあります。

以上についてご留意いただきながら、ご家庭の皆様と保育園とで手を取り合い感染リスクを少なくしていきたいと思っております。ご協力お願いいたします。

○体調管理と健康チェックのお願い

感染の恐れがある人が園内に入らないということがとても重要です。

毎日のそして登園前の健康チェック、家族の皆さんの健康状態の把握についてご協力お願いいたします。6月の健康カードはウォールポケットに入っています。記名及び毎日の体温記録をお忘れなくお願いいたします。

次の場合は登園をお控えください。

- ・体調に関して変わった様子がある場合。発熱がある、咳（呼吸器症状）が出る、鼻水がたくさん出る等
- ・発熱後、解熱をしてから 24 時間以上を経過していない場合、等。

○必ず手洗いを

- ・保護者の皆さんは園に入った際、必ず手洗いをお願いします。
- ・朝の登園時はお子さんと一緒に手洗いをお願いします。
★タオル、ハンカチ等ご用意ください。

○登園、お迎えの際

- ・保育室内テープを貼っています。支度はなるべく速やかに行っていただき、引渡し受入れはテープの手前まででお願いします。

○園の感染予防対策

万が一に備えて、可能な限りの感染予防対策を行っていきます。

- ・手洗い、うがいの徹底
- ・子どもたちの咳エチケットの声掛け
- ・食事配膳を全て保育者が行う。
- ・食事、睡眠の場所はできる限り距離を取る。＊登園人数によって変わります。
- ・玄関、ドアノブ、トイレ等の消毒
- ・玩具の清潔（消毒）
- ・部屋の換気 等々
- ・職員の健康チェックも引き続き行っています。

休園が長期に渡っております。どんな些細なことでも構いませんので、何かご相談がありましたらお気軽にご連絡ください。

たくさん声が飛び交い、人と人とのかかわりの中で育ち合い、学び合う子どもたちの姿が一日も早く保育園に戻ってくることを願ってやみません。そのためにできることを皆さんとひとつずつ行っていけたらと思います。

2020年5月28日

喜多見バオバブ保育園